

R5 年度福祉部会視察研修- R6 年 1 月 30 日(火)

訪問先：柳井市日積地区生活応援検討会

訪問先： 柳井市日積地区生活応援検討会

訪問(打合)日時： 令和 6 年 1 月 30 日 10:20~12:00

訪問(打合)場所： 柳井市役所日積出張所 (道の駅「ふれあいどころ 437」直ぐ傍)

・先方出席者(敬称略)：

-日積地区生活応援検討会---平岡 美代子会長(75 歳)、沖原幸則氏(生活支援コーディネータ)、
河村信子氏(生活支援コーディネータ)、高井氏(民生委員・児童委員)、クラトミ氏(日積ささえあい交通実証実験)
ほか 1 名。 計 6 名。

-柳井市社会福祉協議会---吉山氏、中本美鈴氏(司会)。計 2 名

・当方出席者：野田区長ほか福祉部会委員 16 名 及び 社協大野 中下氏 計 17 名

(結果)

高齢化率 58.6%と過半数が高齢者という状況下、住民の困りごとにうまく対応している。民生委員・民生員、包括、市社協などの横の連携を強くすることは勿論、「支援者(サポーター)登録制」や「生活支援コーディネータ」など、工夫していることは大変参考になった。

また、困りごとを抱えている住民も、民生委員や社協や包括ほか自由に相談できる複数のルートがあり、住民の声が届きやすい様感じた。

路線バスの廃止や商店の減少、病院の廃業など、生活環境の不便さに少しでも改善を図ろうとの試みが見られる。日積地区から車で 20 分弱にある柳井までの交通手段は「予約制乗り合いタクシー」(ひづみふれあい号)、日積地区内を回る「日積ささえあい交通」(試験運行中)など運転免許を持たない交通弱者への対応である。

打合せ席上、楽々キャブについて沢山の質問が先方から有り、大野第一区のホームページを詳細に読んでおられたことには感心した。

今回、大野第一区と住宅環境が大きく異なる(果樹農家の多い過疎地)柳井日積地区の訪問であったが、参考になること多々あり研修としては良かったと思っている。

——資料記載外の先方の説明 (説明は当方・先方各々の資料で行った。)

(1) R6 年 1 月現在、日積地区の人口 1,230 人、699 世帯、**高齢化率 58.6%**。

説明資料では R5 年 9 月末現在 1,237 人、702 世帯、高齢化率 58.29% となっており、僅か 3 カ月で人口、世帯数も其々 7 人、3 世帯も減少している。

高齢化が進んでおり、孤独を作らない様なサポートが必要。見守りも必要。

(2) 「日積地区生活応援検討会」(会長：平岡美代子 氏)：

地区連合自治会長・民生委員児童委員(9 名中何名?)・福祉員(1 名)・ボランティアグループ

代表、老人クラブ・生活支援コーディネーター(2名)・地域包括支援センターなど14名で構成。

生活課題の整理、具体的な支援サービスの検討などを行っている。

参考)日積地区には33の自治会あり。

- (3) 「生活支援コーディネーター」(2人)が、困りごとを聞き、必要があれば生活支援(ほっとネット)に結び付ける。サポーターとの調整役、「ほっとサロン」のお世話役も行う。

* 困っている人の見つけ方:

「困っている人」が市社協や民生委員、福祉員、包括などに相談→その情報が市社協に伝えられる。→市社協から登録された「その地区」のサポーターに連絡→「生活支援コーディネーター」が「その地区で登録されているサポーター」を見つけて依頼する。👉参考になる!相談しやすい風土か?

* 「生活支援コーディネーター」2人は、(セクハラ禁止などの)研修も受けており、困っている人の家を2名で訪問する。

* 「福祉員」1名は、民生委員(9人?)のサポート。

- (4) 「生活応援サポーター」: 登録制で21名(内 サロンのお手伝いのみは 14名)

* 生活支援(ほっとネット)のサービス

→ゴミ出し、お買い物、話し相手、見守りなどのお手伝い。

* 1件あたり100円(チケット制)

- (5) 敬老会: 75歳以上の対象者475名中93名が参加(参加率: 20%)。👉大野第一区に比べて参加者割合が高い。(参考: 大野第一区の場合、1,110名中112名参加。(参加率: 10%))

* 参加者93名に対して支援者約50人(他の地区からの応援含む)

* 会場の飲食はせず持ち帰りの弁当を準備。

* 出し物は、老人会からの出し物(カラオケなど)、高齢者(おじいさん・おばあさん)に向けての小学校低学年の作文朗読(👉お勧めと。)、園児の遊戯など。

* 敬老会の時に「困りごとのサポート『ほっとネット』や『ほっとサロン』をPRしている。

- (6) 「日積ささえあい交通実証実験」について:(クラトミ氏がpptを使ってプレゼン)

* 配布資料あり。

—————主な質疑応答等—————

先方 Q1) 楽々キャブの利用料金負担は?

A1) 利用者からは燃料費として年間1,000円/人のみ貰っており、有料とはしていない。有料にすると運輸省の規約で白タクになる。楽々キャブ運営上マイナス分は、楽々エコボックスほかで少しでもカバーする様に考えている。

先方 Q2) 楽々キャブの事故についての考え方は？ 楽々キャブの規約 「第2項 免責事項等で大野第幾が加入する任意保険範囲を超えて利用に際して生じた事故や利用者間のトラブルに伴い生じた損害の一切について賠償責任を負わない。」とあるが・・・。

A2) 規約のとおりではあるが、記載過失を除き、弁護士に相談の上、解決することになるであろう。

先方 Q3) 敬老会を長寿祭、老人会を万年青会、婦人会を女性会と呼んでいるがなぜ？

A3) ①敬老会→長寿祭に：元気な高齢者も増え、従来のような高齢者の地区に対する貢献に対して感謝・敬うのみならず、祭りとして楽しんでもらおうとの主旨からネーミングを改めた。

②老人会→万年青会に：字のごとく、いつまでも青々＝“若く”ありたいとの願いからネーミングした。

③婦人会→女性会に：「婦人」は既婚の成人女性のイメージが強いため、女の人を表す用語を使用するときは、「婦人」ではなく、未婚の女性を含め「女性」の用語を使用すべきではないかという意見が挙がった。1999年以降、法律も女性の用語を使っている。大野第一区もその流れで「女性会」とネーミングしている。

以上

-----行程-----

東市民センター===大野 IC===玖珂 IC===柳井市役所日積出張所(研修打合せ場所)

9:00 10:20~12:00 打合せ

/ふれあいどころ 437(道の駅)===力寿司===柳井白壁の街並み散策(ボランティアガイド付)===

12:30~13:15 昼食 13:40~15:00

===菓子乃季で買い物===玖珂 IC===大野 IC===東市民センター

15:10~15:30

16:30